

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

教科担当者：

使用教科書：第一学習社「高等学校 現代の国語」（ ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方・考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	〈ものの見方〉〈自己と他者〉 【知識及び技能】 常用漢字、語句、例示など修辭 【思考力、判断力、表現力等】 文章構成、論理展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】学習課題に沿ってまとめる	・「生きもの」として生きる ・「本当の自分」幻想		○	○	【知識及び技能】 漢字を文中で活用する。語彙を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	○	○	○	5
	〈表現・話して伝える力〉 【知識及び技能】 話し言葉・書き言葉の特徴 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣い 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って活用する	・話し方の工夫 ・接遇表現 ・論理的な表現 ・情報の探索と選択 ・情報源の明示	○			【知識及び技能】 話し言葉・書き言葉の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 伝わりやすい表現を考え、説明や発表をしようとする。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	〈比較文化〉〈言語〉 【知識及び技能】 効果的な文の接続の仕方 【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報を対比させた読解 【学びに向かう力、人間性等】 個別の情報を一般化する論理について考える	・水の東西 ・ものとことば		○	○	【知識及び技能】 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を相互に関係づけて内容を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を一般化し自分の考えをもち、まとめようとしている。	○	○	○	8
	〈表現・話して伝える力〉 【知識及び技能】 伝える内容の選択と吟味 【思考力、判断力、表現力等】 わかりやすい伝え方の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組み、効果的に話そうとする。	・スピーチで自分を伝える ・相手に伝わる案内をする ・プレゼンテーションをする ・合意形成のための話し合いを行う	○			【知識及び技能】 伝えようとする事柄について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 聞き手にわかりやすく伝える方法を理解し実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現や話し方を工夫し、効果的に話そうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2 学 期	〈日本文化〉〈科学技術〉 【知識及び技能】 読書の意義と効用の理解 【思考力、判断力、表現力等】 考えと根拠の的確な伝達 【学びに向かう力、人間性等】 個別の現象の具体的な検証	・無彩色の色 ・「文化」しての科学	○		○	【知識及び技能】 読書に親しみ、その意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えをもとめ、根拠の示し方を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 例示された現象を具体的に検証し筆者の考えとの関係を説明しようとしている。	○	○	○	7
	〈表現・書いて伝える力〉 【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解 【思考力、判断力、表現力等】 的確に説明する方法の理解 【学びに向かう力、人間性等】 批評し合い、表現の工夫を身に付ける	・書き方の基礎 ・身近なものの取扱説明書を作成する ・実用的な手紙文の書き方		○		【知識及び技能】 表記・表現、接続、比喻などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を的確に伝えようと表現の仕方を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成や展開に役立てようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	〈情報・メディア〉〈社会・政治〉 【知識及び技能】 主張と論拠の関係の把握 【思考力、判断力、表現力等】 論理展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】 説明の仕方を考える	・現代の「世論操作」 ・フェアな競争	○		○	【知識及び技能】 主張と論拠、個別と一般化などの関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 論理展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿ってまとめ、現代社会の課題を把握し、説明しようとしている。	○	○	○	7
	〈表現・書いて伝える力〉 【知識及び技能】	・地域の魅力を紹介する ・自校の生徒の生活実態を調査す				【知識及び技能】 必要な情報を収集し整理する方法を理解す				

	情報の収集や整理 【思考力、判断力、表現力等】 調査の方法の理解と実践 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に書き発信する態度	る ・社会に対する意見文を書く	○	○	る。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿った調査の方法を学び実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に紹介文、報告文、意見文に取り組み、表現の仕方を工夫しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
3 学 期	〈時間と近代〉 〈環境〉 【知識及び技能】 漢字の文章中での活用 【思考力、判断力、表現力等】 文章をもとに自分の意見の表出 【学びに向かう力、人間性等】 既習の評論との読み比べ	・不均衡な時間 ・ロビンソンの人間と自然	○	○	【知識及び技能】 常用漢字を文や文章の中で活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化や自然に対する態度について、自分の意見を述べる。 【主体的に学習に取り組む態度】 既習の評論と読み比べ、共通点を説明しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査					○	○		1
									合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

国語

科目 言語文化

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書： 第一学習社「言語文化」【言文713】

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方・考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	〈古文入門〉 【知識及び技能】 歴史的仮名遣い、古今異義語 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】 調べたり説明したりする態度	・古文の学習 ・児のそら寝（宇治拾遺物語） ・絵仏師良秀（宇治拾遺物語） ・なよ竹のかぐや姫（竹取物語）	【知識及び技能】 歴史的仮名遣いや古今異義語など文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しを持って調べたり説明したりしようとしている。	○	○	○	7
	〈小説〉 【知識及び技能】 小説の基本的な読解方法の習得 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の性格・心理・行動の理解 【学びに向かう力、人間性等】 内容や展開を粘り強く読み解く	・羅生門 （「現代の国語」教科書使用）	【知識及び技能】 小説の基本的な読解方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 【主体的に学習に取り組む態度】 登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	〈歌物語〉 【知識及び技能】 語彙の習得、動詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語の特徴や内容の理解 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える	・芥川（伊勢物語） ・東下り（伊勢物語） ・筒井筒（伊勢物語）	【知識及び技能】 動詞の活用について、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方・考え方を捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	7
	〈近現代の詩歌〉 【思考力、判断力、表現力等】 現代詩の鑑賞の仕方の理解 詩独特の表現方法の理解 情景や象徴的な表現の理解 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、詩のリズムを理解する	・薨のうへ ・一つのメルヘン ・自分の感受性くらい	【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方・考え方を捉え、内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し音読し、詩のリズムを理解しようとしている。 進んで作者の心情について話し合おうとしている。		○	○	7
	定期考査			○	○		1
	〈随筆〉 【知識及び技能】 文化的背景の理解、形容詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開の理解 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈する	・春は、あけぼの（枕草子） ・はしたなきもの（枕草子） ・丹波に出雲といふ所あり（徒然草）	【知識及び技能】 文化的背景について理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開について叙述を基に的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に解釈しようとしている。	○	○	○	7
	〈漢文入門〉 【知識及び技能】	・漢文の学習 ・訓読に親しむ	【知識及び技能】 漢文を訓読するために必要な返り点の種類と使い方				

2 学 期	返り点、助字、再読文字 【思考力、判断力、表現力等】 語彙を習得し解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 わかった内容を工夫してまとめる	・ 漢文を読むために	などを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語や格言に触れ、語彙を豊かにし、内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組み、わかった内容を工夫してまとめ	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	〈日記〉 【知識及び技能】 古典特有の表現の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方・感じ方を踏まえた内容の理解 【学びに向かう力、人間性等】 執筆意図などについて検討する	・ 門出（土佐日記） ・ 亡児（土佐日記） ・ 帰京（土佐日記）	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れたものの見方・感じ方・考え方を捉え解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 虚構性の高い日記の執筆意図について考えたり発表	○	○	○	7
	〈故事成語〉 【知識及び技能】 訓読に慣れ使いこなす 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開の理解 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来と意味を調べまとめる	・ 漁夫の利（戦国策） ・ 狐借虎威（戦国策） ・ 蛇足（戦国策）	【知識及び技能】 漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開について叙述を基に的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 故事成語の由来となった話を読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	7
3 学 期	定期考査			○	○		1
	〈古典の詩歌〉 【知識及び技能】 枕詞、序詞などの技法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方・感じ方を踏まえた内容の理解 【学びに向かう力、人間性等】 情景や心情を読み取り和歌を鑑賞す	・ 万葉集 ・ 古今和歌集 ・ 新古今和歌集	【知識及び技能】 枕詞、序詞などの和歌の修辞法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れたものの見方・感じ方・考え方を捉え、解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍「文学国語」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方、考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 随筆 【知識及び技能】 言葉の意味の働きと理解 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して自分のものの見方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 根拠を持って発表しようとしている。	・ 随筆「光の窓」 ・ 観察・ワークシート・発表 ・ 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 言葉の意味と働きの理解している。 【思考・判断・表現】 筆者の言葉と感覚との関係の捉え方を理解し、それを自分自身にも当てはめてその内容を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表を通して更に考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	単元 小説 【知識及び技能】 語句の意味、作者についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 文体の特徴を意識して朗読する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く文体の特徴を把握して朗読する。	・ 小説「山月記」 ・ 観察・ワークシート・発表（暗唱） ・ 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 語句の意味、作者についての理解している。 【思考・判断・表現】 文体の特徴を意識して朗読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文体の特徴を意識して朗読しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元 小説 【知識及び技能】 人間に対するものの見方、考え方を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く登場人物の心情やその生き方を考えようとしている。	・ 小説「山月記」 ・ 観察・ワークシート・発表（暗唱） ・ 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間に対するものの見方、考え方を豊かにする。 【思考・判断・表現】 内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く登場人物の心情やその生き方を考えようとしている。	○	○	○	8
	単元 詩歌 【知識及び技能】 短歌独自の表現の特徴と効果を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情景や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめる。	・ 詩歌「硝子の駒一短歌抄」 ・ 観察・ワークシート・発表 ・ 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 短歌独自の表現の特徴と効果を理解し説明している。 【思考・判断・表現】 情景や心情を表現しているかを読み取り、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめる。	○	○	○	4

	言葉に気づくために、本文をよく読み、内容をよく理解を深めようとしている。								
	定期考査					○	○		1
2 学 期	単元 評論 【知識及び技能】言葉の意味と働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】筆者が、詩はどのようなものだと捉えているか読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】詩の特質について自分の考えをまとめ、説明しようとしている。	・評論「詩と感情生活」 観察・ワークシート	【知識・技能】言葉の意味と働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】筆者が詩はどのようなものだと捉えているか読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】詩の特質について自分の考えをまとめ、説明しようとしている。			○	○	○	12
	定期考査					○	○		1
	単元 小説3 【知識及び技能】言葉の意味と働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】登場人物の心理状態を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】自分の考えをまとめさらに深めようとする。	・小説「こころ」 観察・ワークシート・発表（一人一台端末の活用）	【知識及び技能】言葉の意味と働きを理解している。作品の時代背景や作者の状況を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】登場人物の心情を読み取って要約している。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の考えをまとめ話し合いにより考えを深めようとしている。			○	○	○	12
	定期考査					○	○		1
3 学 期	単元 小説2 【知識及び技能】語句の意味と働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】登場人物の心情の変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】人間の生死について自分の考えをまとめ考察を深めようとしている。	・小説「沖縄の手記から」 観察・ワークシート・発表（一人一台端末の活用）	【知識・技能】指示された語句の意味と働きを理解し、更に自分の分からない語句を取り上げ意味や使われ方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】登場人物の心情の変化を、状況の変化とともに読み取り、その根拠を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめ、考察を深めようとしている。			○	○	○	17
	定期考査					○	○		1
						○	○		合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店「精選 古典探究」（古探708））

教科 国語

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方・考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。

科目 古典探究

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き、語彙を豊かにできるようにする。

「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえながら読み、その解釈を深め、作品の価値について考察することができるようになる。

古典文学に興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	〈説話〉 【知識及び技能】 語句の意味や用法 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】 調べたり説明したりする態度	説話 「宇治拾遺物語」 「十訓抄」 「今昔物語」 観察・ワークシート・単語テ スト	【知識及び技能】 読解に必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しを持って調べたり説明したりしようとしている。		○	○	○	12
	定期考査				○	○		1
	〈随筆〉 【思考力、判断力、表現力等】 中世的・仏教的背景や無常観を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 作者のものの見方を理解し、考え方を比較する。	随筆 「徒然草」 「方丈記」 観察・ワークシート・単語テ スト	【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方・考え方を踏まえ、考えを広げている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。			○	○	12
	定期考査				○	○		1
2 学 期	〈物語〉 【知識及び技能】 言葉の響きやリズム、修辞 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の文学史的位置づけを理解する。	物語 「伊瀬物語」 「源氏物語」 観察・ワークシート・単語テ スト	【知識及び技能】 文章に表れている表現の特色について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 構成、展開について叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品の価値について考察しようとしている。登場人物の心情をつかもうとしている。		○	○	○	12
	定期考査				○	○		1
	〈日記〉 【知識及び技能】 作品の持つ虚構性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	日記 「土佐日記」 「更級日記」 観察・ワークシート・単語テ	【知識及び技能】 文章の種類と特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 書き手の考えや目的、意図を捉えて理解し、自分の					12

	人間、社会、自然などに対して考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 作者について関心をもち、日記文学 定期考査	スト	人間、社会、自然などに対する考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作者の心情を理解しようとしている。	○	○	○	1
				○	○		1
3 学 期	〈故事・逸話〉 【知識及び技能】 訓読、書き下し、句法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語の成り立ちを理解し、叙述のおもしろさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の与えた影響や他の故事成 定期考査	漢文 故事・逸話 「知音」 「画竜点睛」 「両頭蛇」 「漱石枕流」 観察・ワークシート・確認テ スト	【知識及び技能】 漢文の読解に必要な句法などを理解している。展開 や構成について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品について内容や解釈をし、自分の知見を広げ ようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に興味を持ち、積極的に調べようとしている。	○	○	○	17
				○	○		1
				○	○		合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典(必修選択)

教科：国語 科目：古典（必修選択）

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店「精選 古典探究」（古探708）・文英堂「リテラ! 古文」（ ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方・考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。

科目 古典(必修選択)

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き、語彙を豊かにできるようにする。	「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえながら読み、その解釈を深め、作品の価値について考察し、ものの見方を深めることができるようにする。	古典文学に興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるようにし、日本の文化に関心を持てるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話	聞	書	読				
1 学 期	【知識及び技能】 語句の意味や用法 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】 調べたり説明したりする態度 定期考査	物語 「井曾保物語」	○	○	○	【知識及び技能】 読解に必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しを持って調べたり説明したりしようとしている。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 語句の意味や用法 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】 調べたり説明したりする態度 定期考査	説話 「今昔物語」 「醒睡笑」	○	○	○	【知識及び技能】 読解に必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しを持って調べたり説明したりしようとしている。	○	○	○	9
	【思考力、判断力、表現力等】 中世的・仏教的背景や無常観を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 作者のものの見方を理解し、考え方を比較する。	説話 「古今著聞集」「発心集」	○	○	○	【知識及び技能】 読解に必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方・考え方を踏まえ、考えを広げている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。	○	○	○	8
	【思考力、判断力、表現力等】 中世的・仏教的背景や無常観を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 作者のものの見方を理解し、考え方を比較する。	物語 「伊勢物語」 随筆 「花月草紙」	○	○	○	【知識及び技能】 読解に必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方・考え方を踏まえ、考えを広げている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2 学 期	〈物語〉 【知識及び技能】 言葉の響きやリズム、修辞 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の文学史的位置づけを理解する。	物語 「竹取物語」	○	○	○	【知識及び技能】 文章に表れている表現の特色について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 構成、展開について叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品の価値について考察しようとしている。登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	8
	〈物語〉 【知識及び技能】 言葉の響きやリズム、修辞 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の文学史的位置づけを理解する。	説話 「古本説話集」 「古今著聞集」	○	○	○	知識及び技能 文章に表れている表現の特色について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 構成、展開について叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品の価値について考察しようとしている。登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	10

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店『論理国語』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価標準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読				
1 学 期	・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。	知の登山、知の水路	○	○	○	【知識・技能】 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	9
	・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。	ウサギの耳はなぜ長い？	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとりえようとしている。	○	○	○	9
	定期考査									1
	・具体と抽象の関係について考えを深める。	情報を比較・整理する	○	○	○	【知識・技能】 ・具体と抽象の関係を示す語句や表現について理解し使っている。 ・情報を抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係を適切に把握しながら、要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組む、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。	○	○	○	9
	・根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 ・接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。	根拠をふまえて主張を書こう	○	○	○	【知識・技能】 ・小論文における、根拠を明確にしながら主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、根拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文を書くことに興味をもち、適切な根拠を示しながら、自分の主張を展開しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査									1
2 学 期	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	紙の本はなくなるならない	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取るようとしている。	○	○	○	9
	・二つの文章を比べて読み、自分の考えをもつ。	【フォーカス】比べて読もう	○	○	○	【知識・技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、複数の筆者の考えを比べようとしている。	○	○	○	9
	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。	量の時代から質の時代へ	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。	○	○	○	7

[illegible]

[illegible]